

## 令和5年度 学校関係者評価実施用紙（まとめ用）

学校番号	81	学校名	静岡県立浜名高等学校	記載者	山崎 仁資
------	----	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
全1	ア 生徒の主体的な学習態度の育成による学力の向上	①「授業は分かりやすく、教え方に工夫がある」 生徒 85% ②「1・2年生の授業において一人一台端末の活用に取り組んでいる」 教員 100% ③「到達度テストにおける各教科の正解率」 65% ④「大学入学共通テストの各教科平均得点率」 50% ⑤「自らの目標に向けて、努力と挑戦を継続」 生徒 85% ⑥「第3学年6月までに未来創造企画書が完成」 生徒 100% ⑦「進路に関する情報提供・指導助言は適切である」 生徒 80%、保護者 70%	A	A	主体的に学ぶ力を教育、指導することは難しいが、大切である。 成果目標による効果を明確にすると良い。 ICTに関しては、端末導入2年目のため、今後に期待したい。IoTなど今後必要になると思われるため、努力してほしい。 未来創造企画書の導入は自分を掘り下げて顧みることにつながると感じた。
全2	イ 新学習指導要領や大学入試改革に即応した指導法の改善と進学指導体制の確立	①「検討会議や研修会等を通じ、自身の授業改善や進路指導充実が図られた」 教員 90% ②「特進クラスにおける新たな指導体制の1学期中の構築」	A	A	新学習指導要領を踏まえての対応は良かったと思われる。 新たに決定した特進クラスの「目指す生徒像」を広く広報してほしい。
全3	ウ 質の高い教育活動の展開による生徒の文化に親しむ豊かな心の育成	①「学校行事、生徒会・委員会活動及び部活動等に主体的に取り組んでいる」 生徒・保護者 90% ②「1か月に1冊以上本を読む」 生徒 70% ③「学校図書館の1人当たりの年間貸出冊数」 4.0冊 ④「全国・東海大会出場」 6部活動 ⑤「校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動」 100%	B	A	部活動の取組は素晴らしい。文武両道を実践した。先生と生徒との信頼関係が必要であり、優秀な先生の長期的配置を希望する。 電子書籍も普及しており、仕方ない側面もある。目標設定が厳しすぎるのではないか。

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
全 4	エ 社会情勢に 適合した生徒指 導と安全・安心な 教育環境整備を 通した生徒の自 己肯定感、自律心 及び社会性の育 成	①「挨拶を心掛けたり、身だしなみに心を配ったりするなど社会のマナーを意識して学校生活を送っている」 生徒、保護者 95% ②「受診が必要な生徒の治療率」 85% ③「校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所がある」 生徒 80% ④「学校内外の整備・美化は行き届いている」 生徒、保護者 85% ⑤「地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握している」 生徒、保護者 80%	A	A	時代が過ぎても本質的なものは変わらない。周りに心の悩みを打ち明けることができる人がいることは重要である。 熱中症対策だけでなく防災や有事の避難先としても、体育館や武道場に空調施設を整備する必要がある。 防災については、より実践的な学びにつながれば良いと願う。
全 5	オ 広報の充実 及び地域等での 取り組みを通じ た教育活動の周 知	①「学校案内、学校紹介動画の刷新」 ②「ホームページの毎日更新」 ③「一日体験入学等で浜名高校のことが分かった」 来校者 95% ④「校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動」(再掲) 100%	A	A	校外を対象に活動・発表の場を設けている部活動は十分な効果があった。 HPも良いが、SNSの活用を検討する必要がある。 来校者の数値が高いことは評価できる。
全 6	カ 教職員の組織力向上と教育活動の合理化・効率化による活力ある運営体制の確立	①各分掌(事務部含む)及び各学年による業務改善・縮減 1件以上 ②学校経営予算の授業・各教科への配分 35%	A	A	ICTの効果的な活用は必要である。 予算は厳しいと思うが、施設整備(上記全4)を進めてほしい。 今後も業務改善を進め、教職員の負担が減り、働きやすい職場になることに期待する。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
定 1	ア 授業改善や 学習支援の取 組みを通じた生 徒の基礎学力の 定着	①「授業の内容・説明がわかりやすい」 生徒 90% ②「授業を通して新しい知識が身に付いた」 生徒 90% ③「授業に積極的に取り組んでいる」 生徒 95%	A	A	ICTの活用による効果を期待している。 ICTの活用は素晴らしい。更に進めてほしい。 ICTの活用は必ず子供のためになると思うので、良い学びに繋げてほしい。
定 2	イ 効果的・系統的な進路指導体制の構築による生徒の社会参画につながる進路意識の高揚	①「卒業時に進路が決定している」 生徒 95% ②「卒業年次の夏までに体験入学や職場見学に参加した」 生徒 90% ③「検定合格者及び資格取得者数」 延べ 50 人	A	A	広い視野での対応は必要だが、卒業時に進路が決定していることは良い。 各種検定料金に対して補助できる制度があるとよい。 進路実績の向上は、本校定時制が選ばれるためにも大切な要素である。資格取得も引き続き進めてほしい。 高い決定率、意欲が素晴らしい。
定 3	ウ 丁寧な指導と支援体制の充実による生徒の基本的な生活習慣の確立	①「校内に自分の悩みや不安を話す人や機会・場所がある」 生徒 90% ②「生徒の交通事故及び問題行動」 年間 10 件以内 ③「生徒の出席率 90%以上、遅刻率 10%以下、早退率 1%以下」	A	A	SSWやコーディネーターとの相談に出席することの意味を説く必要はある。 出席率や事故の有無は最も基本的なことであるため、引き続き進めてほしい。 日々の取組、努力、関係性に敬意を感じた。

様式第5号

	取組目標	成果目標	自己 評価	関係者 評価	意見
定 4	エ 生徒の新たな体験や学校生活の充実につながる質の高い学校行事や特別活動等の展開	①「学校行事が充実している」 生徒、保護者 90% ②「外部講師等による研修会等の開催」 8回以上 ③「自分には良いところがある」 生徒 80% ④「部活動の大会出場や発表会等の対外行事に参加する生徒」 延べ 30人	A	A	より良い学校行事はいろいろな意味がある。 定時制も文武両道が図られている。 このまま進めてほしい。
定 5	オ 広報の充実等による本校及び定時制の教育活動の周知	①「学校案内の刷新」 ②「ホームページの週2回以上の更新」 ③「学校説明会等で浜名高校のことが分かった」 来校者 95% ④「学校の教育活動の様子がわかる」 保護者 85%	A	A	学校説明会は必須である。 HPとリンクしたSNSの活用を進めてほしい。 全日制と合わせた学校案内は素晴らしい着眼であった。
定 6	カ 生徒・教職員が安全・安心に教育活動を展開するための教育環境の整備	①「学校内外の整備・美化は行き届いている」 生徒、保護者 85% ②「いじめに遭ったり見たりしたことがある」 生徒 0% ③「浜名高校に入学してよかった、させてよかった」 生徒、保護者 90% ④「地震や暴風警報発令時等の登校基準や行動を把握している」 生徒 80% ⑤「各分掌（事務部含む）及び各学年による業務改善・縮減」 1件以上	A	A	入学して良かった、させて良かったが多数いたこと の背景を掘り下げていく必要がある。 入学して良かったという答えが多いのは大切である。